



(左からN700S、N700A、700系、500系、300系)

300系「のぞみ」の登場から30年、東海道・山陽新幹線の「のぞみ」はさらに、500系、700系、N700系、N700A、そして最新形式のN700Sへと進化を遂げてきました。Nゲージで、その進化の軌跡をたどることができます。

300系0番台新幹線「のぞみ」 10-1766 16両セット

初代「のぞみ」300系。当時の営業最高速度から40km/hも引き上げた270km/h運転を実現。東京-新大阪間を最短2時間30分で結び、「のぞみ形車両」と称されました。晩年「ひかり・こだま」として活躍を続け、同列車の高速化に貢献しました。KATOでは2022年、登場から30年の節目にその雄姿を最終形態で製品化しました。

実車デビュー:1992年



500系新幹線「のぞみ」 10-1794 8両基本セット

500系はJR西日本が単独で開発を行った唯一の新幹線車両です。300km/h運転のため円形に近い車体断面や尖った先頭形状が採用されました。KATOでは1998年に製品化を行い好評を得ました。

仕様を改め2023年3月に再生産予定です!

実車デビュー:1997年



700系新幹線「のぞみ」 10-1645 8両基本セット

285km/h運転と快適性を両立させた700系。太帯が上となる青帯のデザインや基本的な機器構成は最新形のN700Sまで引き継がれています。KATOでは営業運転開始の1999年に初回発売。白色LEDを初めて採用した国産Nゲージ製品でした。

実車デビュー:1999年

N700系新幹線「のぞみ」

10-547 4両基本セット

700系をベースに速達性・快適性・環境性・省エネルギー化などあらゆる面でグレードアップが施された車両です。KATOでは車体傾斜機構を備え運行開始の2007年に製品化しました。



N700A新幹線「のぞみ」 10-1174 基本セット(4両)

N700Aは、N700系をさらにブラッシュアップさせた車両です。定速度運転機構の採用などにより安全性・定時性・乗り心地の向上が図られました。KATOでは2013年に発売しました。

実車デビュー:2007年(N700系)、2013年(N700A)



N700S 新幹線「のぞみ」 10-1697 基本セット(4両)

最新形のN700Sは様々な"最高"の技術を結集し、上質な乗り心地と快適な空間を実現した最新の「のぞみ」です。KATOでは従来のN700系列と異なる車体断面や、デュアルスプリームウィング形の前面を的確に再現、2022年1月に発売しました。

実車デビュー:2020年